

Doctor's Data 社 DNA Oxidative Damage [8-hydroxy-2'-deoxyguanosine]

検体作成手順

検査を始める前に:

説明書をすべて読み、採取手順をよく理解してください。

DNA Oxidative Damage (DNA 酸化ダメージ)検査は、朝一番の尿採取を必要とし、採取した検体は発送まで冷凍しなければなりません。検体を採取したその日に発送できるように採取の計画を立ててください。

この検査は特別な食事を必要とせず、医師からの指示がない限りは薬剤や栄養補助食品の摂取を控える必要はありません。処方薬の摂取については、担当の医師への相談、指導を受けることなく服用を中断しないでください。

女性の患者様は月経中の尿採取をしないでください。

検査キットの中身:

保冷剤.....	1 個
発泡スチロール箱.....	1 個 (蓋付き)
検体採取容器.....	1 個 (検査キット箱と別提供)
検体用ボトル.....	1 個 (キャップあり)
ジップロックバッグと吸収性のパッド.....	1 枚ずつ
検査申込書.....	1 枚
検体作成手順(本用紙).....	1 枚

その他、キットと別に(検体の発送にかかわるもの)

FedEx 送り状 (Air Waybill).....	1 枚
インボイス (CUSTOMS INVOICE).....	3 枚
FedEx 検体発送方法.....	1 枚
FedEx UN3373 Pak.....	1 枚 (検体発送時のビニール製封筒です)

- キットの中身が不足している場合はデトックスまでご連絡下さい。
株式会社デトックス (Detox Co., Ltd.)
Tel: 03-5876-4511, Fax: 03-3222-5770, Email: askkensa@detox.jp
- キットの外箱は検体を米国ラボに発送する際に使用しますので、破棄しないでください。
吸収性のパッドはジップロックバッグに入れたままにしてください。検体用ボトルには入れないようお願いいたします。
- 検査キット外箱が大きいものとなっておりますが、FedEx UN3373 Pak の口を少し広げていただきますと入る大きさとなっております。ご面倒をおかけいたしますがご容赦ください。

検体作成手順(朝一番の尿採取):

1. 起床して一番最初の尿を検体採取容器に採取します。その尿を検体用ボトルに移し入れます。ボトルのラベルの一番上のラインまで満たし、キャップを固く締めてください。
2. 検査申込書の採取情報欄(右上部)に、検体採取日と身長・体重を記入します。
3. 検体用ボトルに、患者名、生年月日、検体採取日を記入します(英語表記)。**ボトルに患者の情報が正しく記入されていない場合、検査は行われません。**ボトルをジップロックバッグに入れ、バッグと保冷剤を冷凍庫にしっかりと凍るまで入れてください(通常、約 6 時間かかります)。
4. 冷凍後、保冷剤を発泡スチロール箱の底に入れ、その上に凍った検体の入ったジップロックバッグを置きます。発泡スチロール箱の蓋を閉め、キットの外箱に入れてください。
5. 検査申込書を完全に記入し、担当医の署名があることを確認してください。**正しく申込書が記入されていない場合、検査は行われません。**正しく記入した申込書はキットの外箱に入れてください。検体・検査申込書を入れたキットの外箱を検体発送用 FedEx UN3373 Pak に入れ封をします。以上をもって検体の発送準備が整います。
「FedEx 検体発送方法」をご覧ください。

最良の検査結果を得るためにも、できる限り早い検体の発送を推奨します。週末や祝日など、採取日に発送が出来ない場合は、発送の準備が整うまで検体と保冷剤を冷凍してください。